

「食べて応援しよう！」の取組に参加しましょう！

食べて応援しよう！とは？

東日本大震災による被災地やその周辺地域で生産・製造されている食品を積極的に利用することで、被災地の復旧・復興を応援しようとする取組を行う際の共通のキャッチフレーズです。

全国で支援の輪が広がっています



▲被災地産食品の販売フェア



▲被災地産食品を使用したメニューの提供

ロゴをPOPやチラシ等に自由に使用することができます



取組に参加するためには

以下のページにアクセスいただき、フォーマットをダウンロードの上、フォーマットに記載のメールアドレスまでご連絡ください。

【農林水産省HP】 <https://www.maff.go.jp/j/shokusan/eat/index.html>

👉 お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部 食品流通課
TEL : 03-6744-2070



三陸・常磐もの ネットワーク

SANRIKU JOBAN MONO NETWORK

「魅力発見！三陸・常磐ものネットワーク」は、東日本大震災の被災地の本格的な復興に向けて、“三陸・常磐もの”の魅力を発信し、消費を拡大するための官民連携の枠組みです。

企業、政府関係機関、全国の自治体の積極的なご参加をお願いします。

「三陸・常磐もの」の魅力発信・消費拡大 を図るための 全国的なネットワークを構築し、 三陸・常磐地域の水産業等の復興・発展 につなげるプロジェクト

「魅力発見！三陸・常磐ものネットワーク」は、産業界、全国の自治体、政府関係機関から広く参加を募り、三陸・常磐地域の水産物等の“売り手”と“買い手”を繋げることで、「三陸・常磐もの」の魅力を発信し、消費拡大を推進するプロジェクトです。本ネットワークにご参加頂いた企業等の皆様に、社食や弁当、キッチンカーやマルシェを通じて「三陸・常磐もの」をお届けし、消費拡大に繋がります。また、「三陸・常磐フェア」などのイベントの企画や情報発信を行うことで、三陸・常磐地域の水産業等の本格的な復興と更なる発展を目指します。

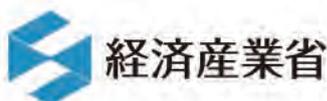


魅力発見！三陸・常磐ものネットワーク 公式サイト

<https://sjm-network.jp/>



ご参加頂ける皆様は下記の登録フォーマットより、ご登録をお願いします。
<https://sjm-network.jp/form/kigyuu-entry/>





三陸・常磐もの
ネットワーク
SANRIKU JOBAN MONO NETWORK

企業の様々なシーンでご活用いただける 三陸・常磐地域の水産品を活用した お弁当やメニューをご提供

職員の皆様が食事をされる場面(社食や会議でのお弁当、敷地内のキッチンカー等)への「三陸・常磐もの」を活用したメニュー導入やマルシェ開催のお手伝いをいたします。ご参加いただける皆様は下記の登録フォーマットよりご登録ください。また、企画段階からのご相談も可能です。お気軽にお問合せください。



弁当

会議や職員様交流の場に「三陸常磐ものネットワーク弁当」を
会議でのお食事や職員交流の場でご活用いただける、三陸・常磐地域の
海鮮を使ったお弁当をご用意しました。
※メニューやご利用日、数量など事前にご相談を承ります。



キッチンカー

オフィス内で出来立てのお魚ランチを販売
会社の敷地等に三陸・常磐ものを使ったメニューのキッチンカーを派遣、出来立
てあつあつのお料理を提供します。通常ランチの他、社内イベントに合わせての
ご利用はいかがでしょう？※メニューや販売数は事前にご要望を承ります。



社食

職員様へ海鮮を使った健康メニューをご提供
給食会社様とも連携しながら、厨房施設や仕入れなどの条件に合わせた
三陸・常磐地域の水産品のご提案を行い、通常メニューから三陸・常磐
フェア開催まで、ご要望に沿ったメニュー導入をお手伝いします。



マルシェ

職員様対象の企業内「三陸・常磐ものマルシェ」開催をお手伝い
三陸・常磐地域の水産品を販売するマルシェ(フェア)開催をお手伝いし
ます。ご要望に応じて販売商品の選定や当日販売のアレンジまでご提案
可能ですので、お気軽にご相談ください。

ご利用の流れ

STEP 01

まずは**参加登録**を
お願いいたします。

STEP 02

登録完了後、三陸常磐もの
ネットワーク事務局より
ご連絡し、ご要望について
お伺いします。

STEP 03

各種専門事業者と
連携し、導入まで
お手伝いいたします



ご参加頂ける皆様は下記の登録フォーマットより、ご登録をお願いします。
<https://sjm-network.jp/form/kigyuu-entry/>



■ご参考 東日本大震災からの復興の状況等について

【東日本大震災からの復興の状況について】
<https://www.reconstruction.go.jp/> (復興庁ホームページ)

【東京電力福島第一原子力発電所の廃炉等の状況について】
https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/hairo_osensui/

【東日本大震災からの
復興の状況について】



【東京電力福島第一原子力
発電所の廃炉等の状況について】



① 厳しい
基準値のもと、
徹底した
安全確保を 
続けてきました。

② ALPS処理水は
安全基準を
満たした上で
放出します。 

③ 海洋放出による
人体や環境への
影響は
考えられません。



もっと詳しく知りたい方へ

●ALPS処理水について



資源エネルギー庁 電話:03-3580-3051
メール:bzl-hairo-syorisuitsaku@meti.go.jp

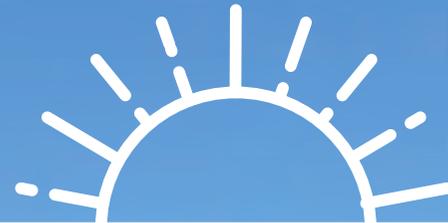
●福島第一原発事故による
水産物への影響と対応について



水産庁 電話:03-6744-2030



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry


水産物の
安全・安心のために

美味しい海の幸を、これからも。

みなさんの食卓に届く美味しい海の幸を
これからも安心して食べていただくために、
安全確保のための徹底した取組について
紹介します。

① これまでも 厳しい基準値のもと、 徹底した安全確保を 続けてきました。

震災以降、国がすべての世代に配慮して定めた厳しい基準値に基づき、水産物の徹底した検査を実施してきました。2015年以降は、基準値を上回る魚はほぼでていません。

■海産種の調査結果

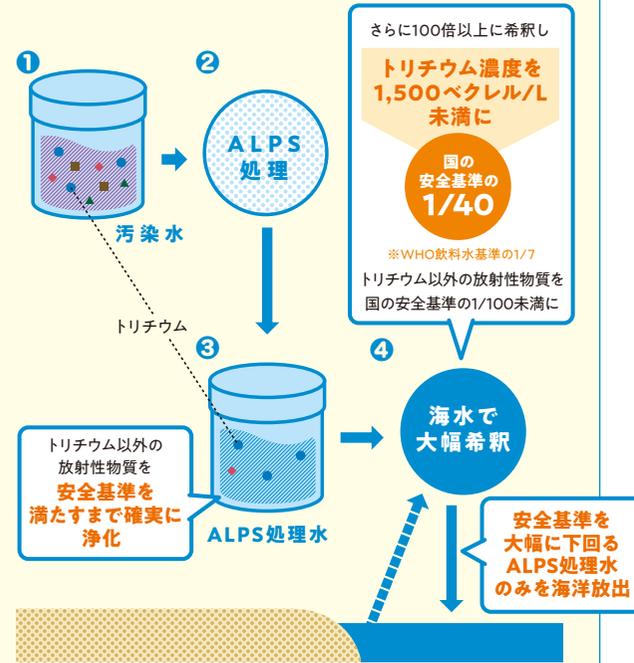


② ALPS処理水は、 安全基準を 満たした上で 放出します。

福島の大復興の大前提となる廃炉を進めるため、政府は、東京電力福島第一原子力発電所のALPS処理水について、安全基準を十分に満たした上で、海洋に放出する方針を決めました。

なお、ALPS処理水に含まれるトリチウムは、私たちの身体や自然界に広く存在する物質で、国内外の原子力施設からも海に放出されています。

■海洋放出までの流れ

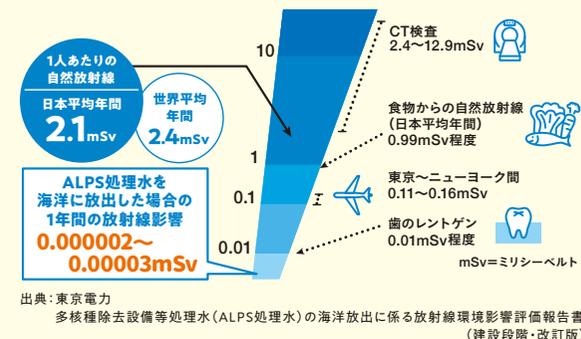


③ 海洋放出による 人体や環境への 影響は 考えられません。

日頃から近海の魚を多く食べる場合も想定し、海洋放出による影響を評価したところ、日常受けている放射線からの影響と比べても、極めて小さいと確認されています。

放出前後でモニタリングも行い、放射性物質濃度に大きな変化が生じていないか確認します。また、IAEA(国際原子力機関)にも、IAEAの安全基準が守られているかを厳しくチェックしてもらっています。

■人への影響は、歯のレントゲンで 受ける影響を大幅に下回ります



■海域でのモニタリング

